

# 繰り返し型プロジェクトにおけるTracの適用

CSKシステムズ 大沼 智之

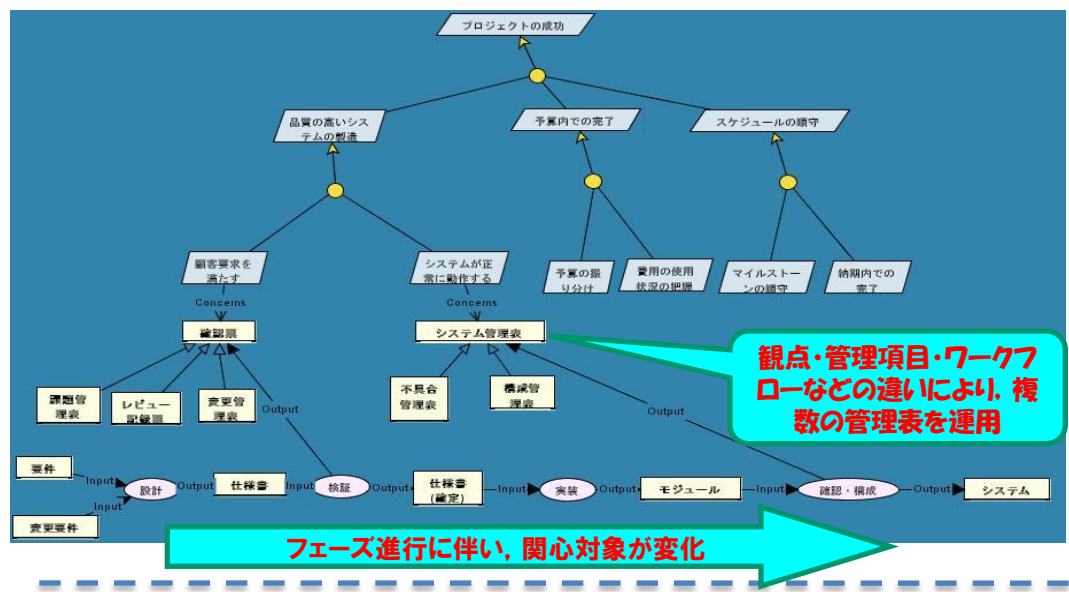
## 開発における問題点

プロダクトライン開発等における、複数の細かい案件を一定の体制／手続きの中で繰り返す「繰り返し型プロジェクト」管理は、通常のプロジェクトとは異なる困難さが伴う。プロジェクトの形態に合わせた効果的なプロジェクト管理を行いたい。

## 手法・ツールの適用による解決

KAOSによる分析を通じ、複数の関心対象を透過的に管理するためにTracを適用した。繰り返し型プロジェクトへの適用を実現するため、Judeのステートマシン図で表現したワークフローをチケットフローに取り込み、現場に合わせたカスタマイズを容易にすることで効果的な管理を実現した。

## 問題の分析と解決へのアプローチ



通常プロジェクトでは

- 品質確保のため、複数の管理表を運用
- フェーズ進行に伴い、関心対象が変化  
⇒一定時期における関心対象は比較的固定されている

繰り返し型プロジェクトでは

- 比較的小規模な案件を短期間に繰り返す
- 複数案件の異なるフェーズが同時進行する  
⇒一定時期における関心対象が多岐に及ぶ

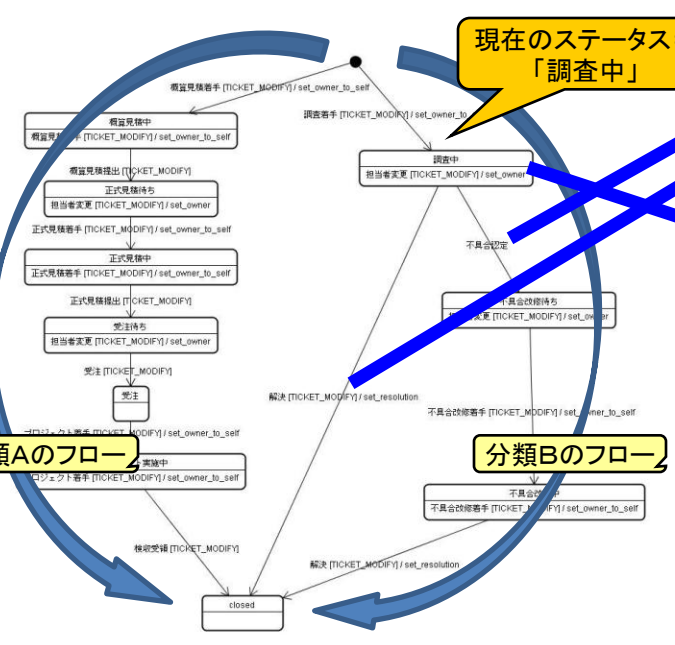
ITSで複数の関心対象を透過的に管理できないか？

- カスタマイズ性の高いTracを採用
- デフォルトでは関心対象の状態を表現しきれない  
⇒現場固有のワークフローとTracのチケットフローを同期することで解決を図る  
⇒実際のワークフローは多様で、設定が困難

## 問題解決の実現

関心対象毎に分岐したフローをJudeにて作成 (関心対象の種類はTracの「分類」で表現)

ワークフローがTracのチケットフローに反映される



Tracの運用

- 発生した事象をチケットとして登録(分類を設定)
- 作業進行に伴いステータスを設定
- チケット検索画面にてチケットを確認

- 以下が設定可能
- 遷移先ステータス(内部遷移含む)
  - 解決方法の選択
  - 担当者選択
  - パーミッション

複数の関心対象を透過的に管理可能

チケット #	概要	報告者	ステータス	担当者	分類	優先度
#1		admin	受付待ち		仕様追加・変更	高
#2		admin	プロジェクト実施中		現地調査	高
#3		admin	プロジェクト実施中		現地調査	高
		admin	new		現地調査	高
		admin	new		現地調査	高
		admin	new		仕様追加・変更	高
		admin	受付待ち		仕様追加・変更	高
		admin	new		現地調査	高
		admin	new		仕様追加・変更	高